

取り組みの方針

関係機関と連携し、AI（人工知能）やスマートフォンといったIoTなどを活用し、高齢者に優しい農作業の効率化、新規就農者に対する支援を進め、荒廃農地の拡大防止と有効利用を図るとともに、農業の担い手の確保に努めます。

また、農産物直売所での新鮮な野菜の販売や地域の食材の学校給食等への供給など、地産地消による食育に努めます。

効率的な森林施業、森林の適正な管理経営のため、森林組合と連携し、森林経営管理制度の有効活用と、林道・森林作業道等の林内路網の計画的な整備、地元産材の利用拡大と造材・搬出体制の基盤整備、森林病虫害等による被害の防止などに取り組んでいきます。

【施策の実現に向けた主な取り組み】

事業名	事業概要	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考	所管課
1 農業委員会事業	農業委員会を通じて農地の権利移動の許可や、農地利用の最適化の推進や荒廃農地の発生防止(農地パトロール)等に努め、農業委員会だよりの発行により権利移動等の周知を行っています。また、令和3年度に作成した人・農地プランをより発展させた地域計画を令和6年度中に策定予定です。	継続	継続	継続		建設産業課
2 農業振興事業	府の補助金を活用し、笠置町農業再生協議会を通じて、町内の営農把握及び農地保全等に関する啓発を行っています。	継続	継続	継続		建設産業課
3 農地維持事業	農地災害等の不測の事態に備え、積算システムを運用・活用することにより、応急復旧に繋がっています。	継続	継続	継続		建設産業課
4 森林対策事業	「笠置町森林整備計画(平成30年度～令和10年度)」に基づき、森林の整備及び保全等を目的に防災上早急な対応が必要とされる高齢級森林間伐を実施しています。	継続	継続	継続	R3年度 【実績値】 間伐面積：4.1ha	建設産業課

事業名		事業概要	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考	所管課
5	林道維持事業	<p>林道の適正な維持管理を目的に、除草および路面補修や側溝清掃等を実施しています。</p> <p>5年ごとに施設長寿命化計画として、横川林道橋梁の点検・診断・計画策定を実施しています(次は令和7年度実施予定)。</p>	継続	継続	林道橋梁点検	<p>R3年度</p> <p>【除草実績】</p> <p>三国越線、横川線 切山線、野田線</p> <p>【清掃実績】</p> <p>1線</p>	建設産業課

取り組みの方針

生活者と来訪者の双方にとって魅力ある商業が営まれるよう、商工会等と連携し、空き家や空き店舗の活用を進めて商業振興を図るとともに、買い物ツアーの実施や公共交通の利便性向上、WEB商店街の整備などを通じて、買い物難民の解消を図っていきます。

京都府やけいはんな学研都市立地企業等と連携し町内で操業可能な企業等の誘致を図るとともに、学研都市等におけるデジタル技術を活用した取り組みの成果を活かして、商工業の振興を図ります。

京都府や周辺都市部と連携して、「アフターコロナ」の新たな生活様式を踏まえ、「笠置テラス」などのスマートワークオフィスの発信と活用促進を図り、豊かな町の自然を満喫しながら働けるしゅくみを創出します。

ふるさと納税制度を活用し、笠置の魅力を発信するなかで、商工業や商店街等の消費拡大が図れる取り組みをさらに展開していきます。

【施策の実現に向けた主な取り組み】

事業名	事業概要	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考	所管課
1 商工振興事業	商工会への助成を行い、生活者と来訪者の双方にとって魅力ある商業が営まれるよう、商業振興を支援しています。	【目標値】 ふるさと納税返礼品 品目数：100品目	継続	継続	ふるさと納税による返 礼品目 R3年度末現在：68品目	商工観光課
2 WEB商店街運営 事業	オンラインでの取り引きや情報発信ができるWEB上の拠点を運営し、町内事業者等の販路拡大や売り上げ確保を支援しています。	【目標値】 WEB商店街登録店舗 数：10件	継続	継続	WEB商店街登録店舗数 R3年度末現在：0件	商工観光課

取り組みの方針

相楽東部未来づくりゾーンとして京都府や近隣市町村等と連携を強化し、新名神高速道路の全線開通を契機に、カヌーやボルダリングなどのアクティビティや、ジビエなどの食材を活かし、笠置ファンの拡大に努めます。

また木津川河川敷については、いっそうの賑わいの創出と消費拡大を図るため、関係機関や地域の方と連携を図りながら「河川のオープン化」に取り組みます。

来訪者が、ゆっくりと町内を散策できるように、けいはんな学研都市等におけるデジタル技術を活用した取り組みの成果を活かし、駐車場や公衆トイレの整備を進めるとともに、多くの人で賑わうキャンプ場、笠置大橋上流の水辺空間利用のため整備された河原、及び町内の商店や「天然わかさぎ温泉笠置いこいの館」周遊ルートを促進します。

またアフターコロナを見据えたマイクロツーリズムや、歴史・文化を活かした魅力的なインバウンド、お茶の京都エリア・相楽東部地域・定住自立圏など広域的連携による周遊観光を促進するとともに、新たな体験観光の担い手育成、観光資源の開発・整備を図ります。

「天然わかさぎ温泉笠置いこいの館」については、再開を目指し、他の観光施設とも相乗効果が得られる利活用について、幅広い分野の有識者や事業者等の参画を得ながら、住民を主体とした検討を進めます。

【施策の実現に向けた主な取り組み】

事業名		事業概要	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考	所管課
1	笠置いこいの館 管理運営事業	町民の健康促進及び町内外者との交流や観光拠点として、貸部屋の運営管理や温浴施設としての再開に向けた設備の維持管理等を行っています。	再開に向けた取り組みを進めていきます。	継続	継続		商工観光課
2	商工観光事業	観光関連ホームページの維持管理や広域観光の推進を行っています。	広域による観光誘客やチャレンジショップの運営委託 【目標値】 チャレンジショップ 出店数：20事業所	継続	継続	R3年度 【実績値】 出店者数：8事業所	商工観光課

事業名		事業概要	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考	所管課
3	観光事業	観光振興を図るため、フォトコンテストや観光情報発信及びフリーWi-Fiの運営を行っています。	フォトコンテスト上位選考作品の活用を検討 【目標値】 観光入込客数：206千人	検討結果の事業継続	継続	R3年度 【実績値】 観光入込客数：133千人	商工観光課
4	観光施設管理事業	府より委託されている府立笠置山自然公園、東海自然歩道の維持管理や、木津川河川敷等の観光施設の維持管理を行っています。	継続	継続	継続		商工観光課
5	河川空間活用事業	木津川河川敷のいっそうの賑わいの創出と消費拡大を図るため、関係機関や地域の方と連携・調整を図りながら「河川のオープン化」に取り組んでいきます。	河川オープン化に向けた社会実験の実施と、住民アンケート調査を実施し、住民の意向確認を行います。	オープン化の実施 【目標値】 キャンプ場入込客数：104千人	継続	R3年度 【実績値】 キャンプ場入込客数：67千人	商工観光課